

最新の情報に高い関心 第6回業界説明会

2月3日(日)午前10時から正午まで、会館講堂において第6回業界説明会(皆さんの未来のために)が開催され、勤務柔整師や個人契約者ら58名が出席した。今年のテーマは「あなたの申請書大丈夫ですか?」

(Ⅱ)一柔整審査会の権限強化、いよいよスタート!とした。早川総務部長と山口保険部長が司会進行と受付を務め、森川会長ら4名が業界の現状や介護予防事業などについて説明した。



■柔整審査会の現状について(森川会長)

開会の挨拶のあと、「時代の変化への対応」を副題として、昨年末に決定したばかりの柔整審査会内の面接確認委員会(仮称)の概要を中心に、制度改革全般と行き過ぎた患者照会の実態とその対策案、医科との併給に対して取り組むべき課題を示した。参加者は最新の情報に高い関心を示し、熱心に説明を受けていた。



■疑義返戻を防ぐ申請書の書き方(藤川副会長)

負傷原因と負傷部位や施術頻度などに整合性があるか、長期(頻回)理由は適正かなどを具体的に解説し、返戻されない申請書作成の考え方や書き方を説明。また「部位転がし」が疑われるパターンを紹介し、柔道整復術に基づいた請求内容であることが大前提であり、正確で克明に記載した施術録がその申請の根拠となるのでしっかりと記載することが重要だと述べた。



■広告規制の現状(長谷川副会長)

一昨年より名古屋市内で実施されている広告の実態調査や昨今の行政の動きを説明し、また本会の何でも相談ダイヤルで増えている健康被害と金銭トラブルを紹介。相談の増加の一因である不適切な広告が患者安全を脅かし、ひいては業界全体の信頼の失墜にもつながっているため、関係法規を遵守し節度ある広告に努めてほしいと結んだ。



■接骨院の総合事業参入について(長瀬介護部長)

「地域包括ケアシステム・総合事業ミニデイにおける参入や展望」をサブテーマに、制度改革によるデイサービスの報酬引き下げなどで介護施設の支援総合事業への参入が厳しくなっている。今こそ接骨院での事業参入のチャンスであると述べ、運動器の機能向上訓練や通所型A及びCの総合事業における会員の参入状況を説明。社団組織としての参入への取り組みを紹介し、個人で参入することの難しさを説き、職域拡大のためにぜひ組織に入ってほしいと締めくくった。



2月9日(土)には会館を訪れ、理事会の席で推薦に対して謝意を述べるとともに、「入会後父親の跡を継ぎ、父の教えである『すべては患者さんのため。日々精進。常に謙虚であれ』の三つを守って今日まで地域に貢献してきた。そのかいもあり、現在、親子三代にわたって通院される患者もいる。この仕事

が天職であると考え、健康である限り続けていく」と抱負を語り、85歳にしてますますの意気軒昂ぶりを示してくれた。



Welcome!! 新入会員

氏名	生年月日	支部	出身校	段位	趣味
齋藤祐樹	S60.4.27	中村	米田柔整	—	カメラ



柳田松三氏 旭日単光章受章祝賀

柳田前副会長 叙勲祝賀会盛大に開催



2月17日(日)正午よりホテルナゴヤキャッスルにて、柳田松三前副会長の「旭日単光章受章祝賀会」が盛大に執り行われた。

この栄誉は本会の推薦により30年度秋の叙勲にて受けたもので、柳田前副会長は、昨年11月6日(火)の愛知県庁における叙勲伝達式に出席、翌日7日の皇居宮殿春秋の間にて行われた叙勲者拝謁式にも出席し、天皇陛下に直接拝謁しありがたいお言葉をいただいた。

祝賀会は「天守の間」にて、政界や医師会、本会役員や支部会員など136名が出席して行われた。開会の辞を藤川副会長が述べたあと、発起人代表で本会顧問の衆議院議員江崎鐵磨氏は、「柳田先生とは家族ぐるみのお付き合いなので今回の受章は大変喜ばしい。今後も地域の赤ひげ先生の役割を果たしてほしい」と挨拶。来賓の大村秀章知事は、「健康に留意のうえ、地域の信頼を得て大衆に愛されるよう先頭に立って活躍されることを祈ります」と述べられた。

発起人のメンバーである森川会長が経歴紹介を行なった後、藤川政人参院議員、長坂康正衆院議員、寺西 睦県会議員、中野正康一宮市長、米田 實米田病院理事長、工藤鉄男日本柔道整復師会会長の順で祝辞が述べられた。

日整、東海ブロック会、本会、協同組合、一宮支部からの記念品の授与に続き、7人のお孫さんから花束が贈呈され満面の笑みを浮かべた柳田前副会長は謝辞として、「サラリーマンから柔整師になったことが大きな転機であった。故米田一平先生の生き方に感銘を受けて仕事を続けてきた。また愛知県柔道整復師会の公益法人化の礎となれたことに対し佐久間前会長に感謝する」と語り、さらに祝賀会の開催運営に尽力してくれた森川会長や中野一弥支部長らに謝意を表した。



その後、神戸健太郎県会議員の乾杯とともに祝宴が行われ、柳田ご夫妻は各テーブルを回り参加者より祝福を受けた。

14時30分には名古屋市議員横井利明氏の音頭で万歳三唱し、長谷川副会長の閉会の辞によりお開きとなった。

高齢者向けに体操教室



柔道整復師 溝口英一さん 85歳。半世紀以上の柔道整復師として、愛知県名古屋市で活躍している。父の英三さんが営む接骨院に、入ったのが1963年。接骨院の元で始めた「王手子指導教室」で、青少年を指導している。

2月6日付、読賣新聞

医療功労賞に2人

長にわたって地域の医療活動に貢献し、人々に愛される「溝口英一さん」が、愛知県医師会から「医療功労賞」を受賞した。また、名古屋市医師会から「医療功労賞」を受賞した。表彰式は、2月6日(日)、名古屋市医師会会館で行われた。

溝口会員 医療功労賞を受賞